

口腔外科学特論 ・ 実習

《キーワード》 顎・顔面・口腔外科、再建外科学、顎・顔面・口腔の構造と機能

《担当者名》 志茂 剛

【概要】

顎顔面発育異常に対する外科的治療前後の形態と機能評価、及び顎口腔領域の腫瘍切除後の組織欠損に対する再建方法並びにその形態的・機能的回復に関する評価法について講義と演習を行う。

【学修目標】

1. 顎顔面発育異常の診断を説明できる。
2. 顎顔面発育異常の治療方法について説明できる。
3. 顎顔面発育異常に対する外科的治療の形態を評価できる。
4. 顎顔面発育異常に対する外科的治療の機能を評価できる。
5. 組織再建材料について説明できる。
6. 組織再生医療について説明できる。
7. 顎口腔領域の腫瘍切除後の再建方法について説明できる。
8. 組織再建後の形態と機能を評価できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス		志茂 剛
2	顎顔面発育異常の診断・治療方法		志茂 剛
3	顎顔面発育異常に対する外科的治療の形態と機能の評価		志茂 剛
4	組織再建材料、組織再生医療		志茂 剛
5	顎口腔領域の腫瘍切除後の再建方法		志茂 剛
6	組織再建後の形態と機能の評価		志茂 剛

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来・病棟及び手術室における実習を含む。

【学修の準備】

文献reviewを行ったうえで、evidenceの有る文献を批判的に精読し、論文の問題点と今後の研究課題について考察しておく。